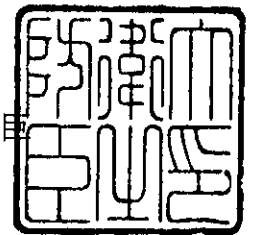




防衛大臣指示第25号
平成19年10月18日

大臣官房長
各局長
各防衛参事官
技術監
施設等機関の長
各幕僚長
技術研究本部長
装備施設本部長
殿

防衛大臣



総合取得改革の加速に関する大臣指示

最新の軍事科学技術の動向を踏まえ、統合運用の進展や部隊のニーズに的確に対応した装備品等を効果的かつ効率的に取得することが必要である。

また、厳しい財政状況の下、より優れた装備品をより安く取得すべく、国民への一層の説明責任を果たし得る公正かつ透明な制度の整備が求められている。

このため、総合取得改革を加速すべく、総合取得改革推進プロジェクトチームを設置する。同チームにおいて、下記の各事項について早急に検討し、平成20年3月末日までに、その検討成果及び更に検討を要する課題への取組方針を報告せよ。

記

1 装備品等のライフサイクル管理の強化

装備品等の構想、開発、量産、運用及び廃棄に至るライフサイクルにわたり、一貫したコスト管理等を行うため、ライフサイクルコストを明示し、取得プロセスの節目で、性能、コスト等の要素を的確に評価した意思決定を行うとともに適切な事後検証が行われる制度の整備について検討せよ。

また、その基盤となる組織及び人材育成の在り方について検討せよ。

2 効果的・効率的な研究開発の在り方の検討

最新の軍事科学技術の動向や研究開発を巡る国際的な情勢を踏まえつつ、防衛構想に対応した効果的・効率的な研究開発を行うことが必要である。このため、研究開発した装備品等が十分な効果を挙げているかについて検証し、今後の研究開発の在り方について検討せよ。

3 調達・維持整備の効率化に向けた施策の強化

装備品等の調達・維持整備について、統合運用の視点も踏まえ、一括取得、民生品・民生技術の活用、民間委託の拡充、FMSの一層の改善等効率化への更なる工夫と努力を推進し、具体的な達成目標を設定しつつ、ライフサイクルコストの抑制に向けて、検討せよ。

また、民間の効率化努力を促進すべく、原価計算方法の改善及びインセンティブ契約の拡大について検討せよ。

4 中央調達・地方調達の見直し

部隊運用等の実情に即した効率的な調達の実施及び調達業務の透明性の一層の向上を図るため、中央調達・地方調達の見直しについて検討せよ。

5 計画段階・調達段階の業務分担の在り方の検討

装備品等の取得等に関する計画段階と調達段階との業務分担の在り方について検討せよ。